公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

令和7年度第5回理事会報告

日 時：令和7年7月10日(木) 13時～16時00分

場 所：JSOSビル3F 会議室4 及び Zoom

出席者：

町田 幸男	石井 昭彦	原 勇人	安井 博志 (14:30より参加)	藤江 理枝
廣川 健太郎	吉田 春彦	下村 真一	小高 令子	(欠)西原 斗司男
畑中 涉	中橋 沙羅	蛭田 伸一	栗田季慎子	
望月 啓治	星 一男	野村 善弥	中島 隆之	監事
赤尾 浩一	石田 英行	古賀 英年	(欠)平田 伸也	古屋 寿隆
小田部 拓	武田 豊明	前田 善彦	奥井 健吾	佐久間 務

参加 理事 24名 監事 2名

欠席 理事 2名

1. 開会

会議に先立ち、望月専務理事が、先の6月22日の定時総会において武田氏、平田氏の2名の理事候補者が欠席でその理由が不明との当局からの説明があり、その結果、議決時に正会員数名から否認や棄権の表決がなされた。しかし、後日確認したところ、本務や公務のためという正当な理由による欠席と判明したことから、両氏から改めて理由を述べていただいた。武田氏は愛媛県からの委嘱による試験監督の業務、平田氏はJMSCA スポンサーに関する業務のための欠席であった。なお、平田氏は今会議も本務による欠席につき、望月専務理事からその旨の報告をした。

2. 会長挨拶

定時総会での不手際については申し訳ない。お詫び申し上げます。
新体制となり最初の理事会につき所信を申し上げます。この体制の方針として、1. JMSCの組織力強化 2. 財政再建 3. 外部から頼られる組織になる の3つをあげた。
理事の皆様には、業務執行理事の監督のほか、各委員会をガバナンスの最小単位としてとらえ委員会が確実に機能するようしっかり管理監督をすることをお願いしたい。また、理事会資料を事前に目を通していただき、スピード感を持って対応し、悪い情報は早く出すようにしてほしい。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中 23名出席 監事数 2名中 2名出席
(定款第33条、定足数=14名(過半数以上))

4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題

議案第 1 号 前回（6 月 22 日開催）理事会議事録の承認について
以下のように異議なく承認された
反対 0 名 棄権 0 名 賛成 23 名

議案第 2 号 組織管理運営規程改定の考え方について
望月専務理事が配布資料を基に、考え方と方針を説明した。
組織体制については 8 月理事会時に具体的な案を示し、それを基に各委員会で審議し、9 月 20 日までに報告を受け 10 月理事会において組織管理運営規程の体裁を含め改定を完了する予定であり、こうした流れを前提に次の議案の担務案を示すことを説明した。
また、委員会を最小のガバナンス単位ととらえ、委員長が委員会を掌握し、議案上程や支払い依頼等を代表して行うこと、主管理事は、担当委員会の人事権や財務権を所轄すること、主管理事と委員長が同一者ではいけないなどの区分を明確にした。

議案第 3 号 各理事の担務について
望月専務理事が配布資料を基に説明し、その後決議をとり以下のように異議なく承認された。
反対 0 名 棄権 0 名 賛成 23 名

議案第 4 号 第 3 期基金募集事項案について
望月専務理事が、基金へ協力しても良いとの声があること、来年の年度末に対応しなければならないことから、昨年と同様に 8 月から 9 月にかけて、目標値の 5000 万円に足りない分（1280 万円）の基金を募集する案について説明し、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名 棄権 0 名 賛成 23 名

議案第 5 号 UIAA 署名依頼への対応について
廣川副会長が、アイスクライミング競技の現状を画面に表示し、説明し、2030 年冬季オリンピックの追加競技として推薦することに、NF として反対する理由がなく、支持するという提案について採決し、以下のように異議なく承認された。
反対 0 名 棄権 0 名 賛成 23 名

議案第 6 号 「JMSCA クライミング体験キャンプ in 鉾田」
の開催について
栗田理事が配布資料をもとに説明し、町田会長と、畑中 SC 部長が、表敬訪問することの補足説明がされた。
本件は、SC 普及委員会が所管し JMSCA が主催になり、主管が茨城県と

なることの審査を経たうえで理事会に提案され、承認という機関決定プロセスを経ることが必要であると指摘がされた。

今後 SC 普及委員長が中心になって、委員会内で予算計画を含め、審査することが確認された。その後採決し、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 23名

議案第 7 号 「DMG MORI Arena CUP」公認大会申請承認依頼について

栗田理事が、配布資料をもとに説明した。

本件について、申請書類が、直接事務局に送付されてきたが、SC 普及委員会として、書類の内容を確認することが必要なため、今後の書類の流れを含め手続きを整理することとした。その後、採決をとり、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 23名

議案第 8 号 補正予算の編成について

各専門部（SC 部、SKIMO 委員会、事務局）から、状況報告をした。当初予算から、どう変わるか、口頭で説明がされ、8 月の理事会に提出し、正式決定することを目標にすることを確認した。

議案第 9 号 国スポ SC 競技リード種目における競技運営方法の回答について

原理事が回答案について説明し、文書表現の一部を修正することを条件に、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 24名

議案第 10 号 JMSCA スポーツクライミング競技規則 一部改正について

中橋理事が、SC 技術委員会から提案されている改正案について説明し、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 24名

議案第 11 号 2025SC 国際競技大会ユース日本代表選手選考基準改正について

畑中副会長が、SC 強化委員会から提案されているユース日本代表選手選考基準改正の要旨（3 名から 4 名へ、2 つの選考基準を 1 つの選考基準にまとめた）を説明し、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 24名

PM3:00-3:10 休憩

7. 報 告

- 報告第 1 号 6 月末時点の主な収支及びキャッシュフローの状況
赤尾事務局長が、資料を基に説明する。
主な後質疑応答の概要
- ・年度末に予想される資金確保手段についての問いに対し、業務執行理事を中心に検討し、確実に対応していく旨の回答。
  - ・当該内容をそのまま、各岳連に説明のために配布するか否かについては、別途検討する旨を回答。
- 報告第 2 号 2025 年度 JMSCA スポーツライミング部ブロック研修会の受講料の一部変更について
原理事が、説明した。
- 報告第 3 号 SC 部委員会名簿 2025 国スポ委員会常任委員の変更について
原理事が、常任委員 1 名がはずれ、主管理事となり、総勢 23 から 22 名となり、常務理事会で承認されていることを報告した。
- 報告第 4 号 2025 年度国スポブロック大会 TD 派遣について
原理事が、説明した。
- 報告第 5 号 第 80 回国スポ大会（青森）スポーツライミング競技リハーサル大会
開催申請について
原理事が、説明した。
- 報告第 6 号 「スポーツライミングジャパンツアー2025」について
栗田理事が、9 月より開始できるよう準備している旨説明した。
事業全体の収支が明瞭になっていないので、関係者に共有し、補正予算に反映するようしてほしいとの要望がでた。
- 報告第 7 号 A 選手登録のための義務研修について
栗田理事が、9 月から開始予定である旨説明した。令和 6 年度とは違う講師を確定するため調整中である状況を補足説明した。
- 報告第 8 号 役員派遣ほか渉外等について(6 月～8 月)
町田会長が、イベント参加実績及び予定について説明した。
- ・モンベル設立 50 周年記念に参加
  - ・全山遭への参加予定
  - ・多久高校（JOC 強化拠点）への訪問予定
  - ・インターハイへの参加（全日技術顧問として野村理事参加）予定

8. 各委員会議事録について

望月専務理事が、クラウド（Box）に格納整理予定と説明した。

9. 今後の予定

令和7年度 8月常務理事会 8月12日(火)

令和7年度 8月第6回理事会 8月14日(木) PM1:00 からを予定

令和7年度 9月常務理事会 9月9日(火)

令和7年度 9月第7回理事会 9月11日(木)

10. その他

- ・ 岩手山クラウドファンディングへの協力に対し、吉田理事がお礼を述べた。
- ・ 昨年総会で決まった善管注意義務違反者の中で、解決金の履行がされていない者への対応について、検討したほうが良いのではとの発言があり常務理事会で別途検討することになった。
- ・ 7/17(木) から 7/24(木) は赤尾事務局長不在予定。
- ・ JMSCA フレンドの状況と、今後の見通しをアナウンスしてほしい、システム仕様書、過去の要約(資料)を配布してほしい等の意見が出た。今後、会長名による文書を内容確認しだい発出予定、その他資料も個別対応予定となった。

令和7年7月10日

記録

赤尾浩一

議事録署名人

会長 _____

監事 _____

監事 _____